

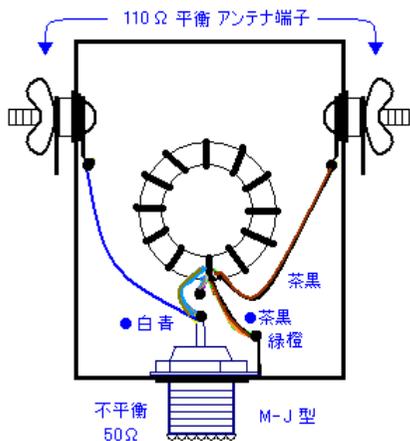
アンテナバラン 組立部品セット DB-110H-v2

50Ω 不平衡 : 110Ω 平衡 0.5MHz~60MHz
 許容入力電力 : 連続 100W (CW 200W, SSB 300W)
 サイズ 50W × 75H × 30Dmm (突起物を除く) 重量 約 120g

||||| 50Ω : 110Ω (112.5Ω) バランの作り方 |||||

- ①、6本組被膜より線を、コアに、12回巻きます
- ②、その被膜線の両端末とも、2本線の3組にして結線ねじり合わせます
- ③、巻き始めと、巻き終わり、端末配線の通り配線し、半田付けします
(結線のジョイント1ヶ所はテープなどを巻いて絶縁しておく)
- ④、プラボックスにボルトナットM-BR(M型座)を取り付ける
- ⑤、巻いて作ったコアを、構成図のように、ボックス内に収めて結線半田付けします
- ⑥、接着剤などで、端子等をかためて、フタをして完成です

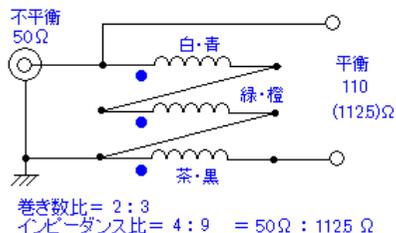
構成図



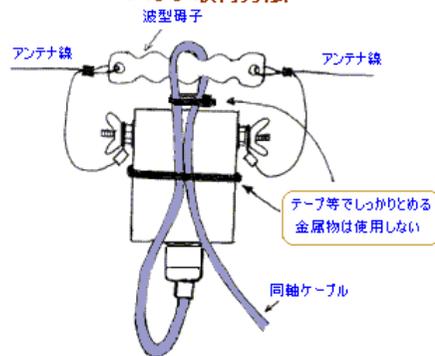
組立完成例



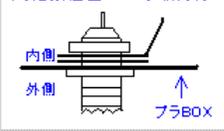
回路図



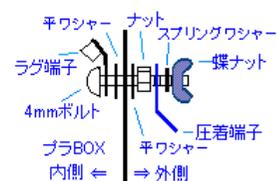
バラン取付方法



同軸接栓座MBRの取付方



アンテナ端子取付方法

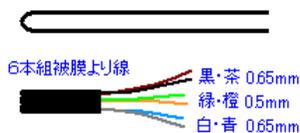


部品表

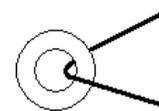
フェライトコア 2643801002---1
6本組被膜より線---55cm
M型接栓座 M-BR---1
ステンボルトナットワッシャー 蝶ナット、ラグ端子---2組
プラボックス---1
波型碍子---1
結束バンド---2

コアの巻き方

1. 6本組被膜より線を
半分ほどで折り返します



2. 6本組被膜より線を
コアに約半分の長さで通します



3. 半分の 6本組被膜より線を
6回巻きます (コア内通過数)

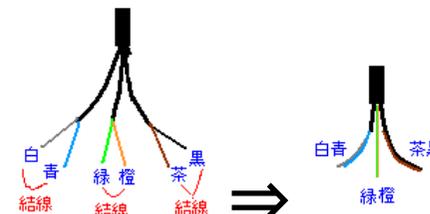


4. もう半分の6本組被膜より線を
図のように同様に6回巻きます
(コア内通過数)合計12回巻きます



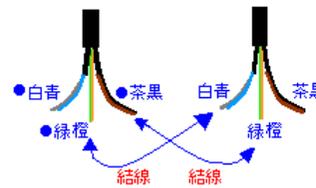
5. 端末処理

コアに巻いた3P被膜線の両端末とも、下記のように結線ねじり合わせます
白、青 / 緑、橙 / 茶、黒、2本線を 結線ねじり合わせます

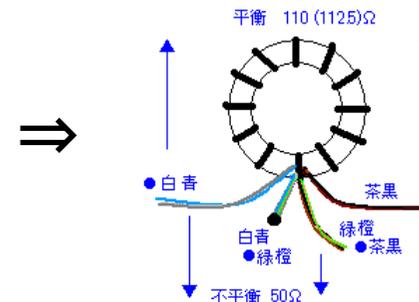


6. 端末配線

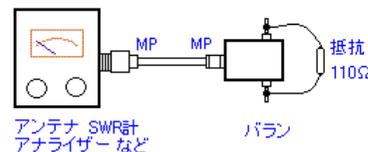
ねじり合わせた3P被膜線の両端末を、下図のように
巻き始め、巻き終わりを、配線結線し、ねじり合わせます



結線ジョイント1ヶ所はテープなどを巻いて絶縁します
(緑橙 白青)



SWR測定方法



アンテナ SWR計
アナライザー など

バラン

抵抗は短く接続します
(コアに直に接続した方が測定誤差は少ない)

コア完成例



有限会社 大進無線

〒410-0022 沼津市大岡 2223-14
 TEL 055-925-4961 FAX 055-925-4962

URL <http://www.ddd-daishin.co.jp/>
 E-mail info@ddd-daishin.co.jp